

令和2年度春の外国人叙勲伝達式の開催

9月27日、山田大使は令和2年春の外国人叙勲伝達式を大使公邸において開催しました。ナザルバエフ大学関係者の他、医療関係者など、9名が参加しました。(十分なコロナ感染症対策を施し、同席者は最小限となりました)。

山田大使は、令和2年度春の外国人叙勲を受章されたジャクスイバイ・ジュマディロフ・ナザルバエフ大学医療センター長(被爆研究及び被爆者の健康強化の分野における日本・カザフスタン間の関係強化に寄与)に対して、旭日中綬章を伝達しました。

山田大使はジュマディロフ氏に対し、客員教授として広島大学に勤務した時期(1999年から2004年)に、放射線研究における両国間関係の発展、2008年のアスタナ医科大学学長就任以降の東京大学及び早稲田大学との学術調査協力の実現に謝意を表明し、旭日中綬章受章への祝辞を述べました。

これに対しジュマディロフ氏は、広島大学勤務時代及びアスタナ(当時)勤務時代を総括するとともに、旭日中綬章の授与を決定された天皇陛下、日本大使館並びにナザルバエフ大学の同僚への謝意を表明しました。

【式次第】

1. 開会の辞
2. 国歌演奏
3. 大使挨拶
4. 勲記, 勲章の伝達
5. 花束贈呈
6. ジュマディロフ氏より答礼挨拶
7. 写真撮影
8. 閉会の辞
9. 乾杯



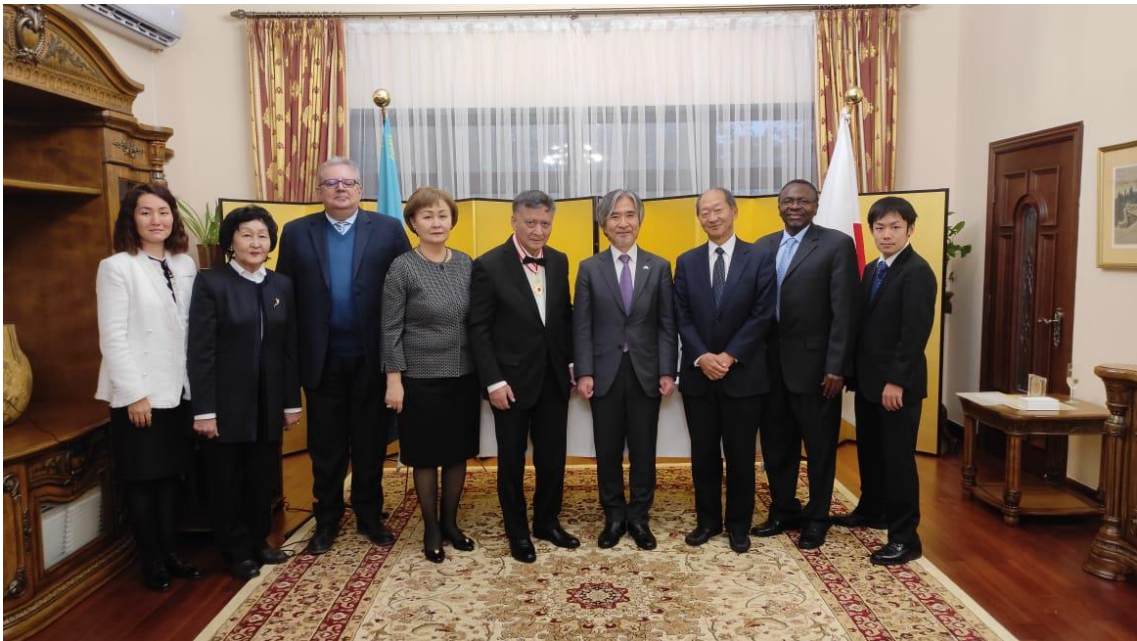
旭日中綬章及び略綬授与の様子



山田大使による祝辞



ジュマディオフ夫妻と山田大使



全体集合写真